

第六回ハナショウガ研究会

日時：2011 年 8 月 24 日(水)

場所：近畿大学農学部 209 教室(〒631-8505 奈良市中町 3327-204)

Tel & FAX 0742-43-7415(北山研究室直通)

<http://nara-kindai.univ.jp/01gakubu/access.html> (近畿大学農学部アクセス)

<http://nara-kindai.univ.jp/03campuslife/bus.html>(バス時刻表) 富雄発 9:58

(総合司会：北山隆)

I. 研究会幹事挨拶(開会)・連絡・報告(10:30～10:35) 北山 隆 (近畿大学農学部)

II. 研究課題紹介

発表グループ 「近畿大学農学部・北山グループ」「長浜バイオ・河合グループ」

「京都大学農学部・村上グループ」「京都大学大学院薬学研究科・伊藤グループ」

10:35～12:15 (発表 5 分間 質疑 3 分間 交代 1 分)

[報告]

座長：北山隆(近畿大学)

平瀬 創太(大洋香料株) ハナショウガの開発研究～CITE2011 の報告～

[生理機能]

座長：藤井健二(修士 2 年)

大西 康太(D2：村上) ゼルンボンはタンパク質の品質管理機能を活性化する

中畑 恵利奈(M1：村上) ゼルンボンによる生体防御強化作用の解明

[合成・反応]

斉藤あゆみ(M2：北山) ゼルンボンはヘキサンがお好き？Part2

中川 典子(B4：河合) ゼルンボン誘導体の微生物変換に関する研究

亀尾 昌樹(M1：北山) 不斉アレンゼルンボンは合成可能か？

座長：妻形博紀(修士 1 年)

合田 大祐(B4：北山) ゼルンボール誘導体の 1,3-アリル転移反応

高橋 一生(M1：北山) ゼルンボンの高度な渡環反応制御

井福 壮(B4：北山) Double Favorskii 転移反応による、シクロプロパンカルボン酸の合成

[評価]

鳥居 舞(B4：河合) ゼルンボン誘導体の抗菌活性機構に関する研究

三好 大(M1：伊藤) テトラヒドロゼルンボンのキラリティと運動抑制作用

伊藤 美千穂 先生 沈香に始まった匂いの薬理の話

昼食 12:15～13:30 (ショートトーク 1 分間 12:40～13:05 (PP1 枚：約 1 分) (A-1～A-9→B-1～B-14))

なお、ショートトークは、口頭発表未発表者のみ

III. ポスター発表 13：30～14：45(A：北山 G) 14：45～16：00(B：河合 G、村上 G)

コア発表時間 ポスターA (14:50～15:35) ポスターB (15:35～16:20)

北山 G： A-1.藤井健二(M2),A-2.尾田健太郎(B4),A-3.妻形博紀(M1),A-4.白井貴士(B4),A-5.磯森幸子(M1),
A-6.関本杏奈(B4),A-7.毛利隆太郎(B4),A-8.伊豆元啓(M1),A-9.平岩和紗(B4),A-10.斉藤あゆみ(M2)
A-11.高橋一生(M1),A-12.井福壮(B4),A-13.亀尾昌樹(M1),A-14.合田大祐(B4)

河合 G： B-1. 松本美奈子(M2),B-2. 板倉寛幸(B4),B-3.鳥塚貴介(B4),B-4. 沖田幸介(B4),B-5.桂巻和央(B4),B-6.
柴田和(B4),B-7.鈴木晃平(B4),B-8.廣瀬愛(B4),B-9.村田法子(B4),B-10.中川典子(B4),B-11.鳥居舞(B4)

村上 G： B-12.大西康太(D2), B-13.中畑 恵利奈(M1)

大洋香料株：B-14.川本乃理子(M2:大阪府大)

IV. 閉会の辞 宮脇英昭 (大洋香料株)

V. 写真撮影

VI. 情報交歓会(西大寺) 18:00～ 近大発 17:18

北山G 23名

+福島美幸+山本智恵子+山本理恵子+伊豆友香子+都築輝考+巽大明+矢部寛延+範國茉里

河合G 12名

村上G 3名

伊藤G 2名(懇親会1名)

大洋香料 4名

他の企業 2名

中村先生 1名(懇親会なし)

計 47名

懇親会 47名

タイトル縦長(第六回ハナショウガ研究会) 1枚

タイトル教室用 2枚(前後)

ゴミ袋